

中小企業の人材育成後押し

ポリテクセンター静岡 生産性向上支援訓練で問題解決力アップ!

会員企業に 訓練を実施する 「事業取組団体」を募集



ポリテクセンター静岡は2月23日まで、「生産性向上支援訓練」を会員企業に対して実施する事業主団体を募集しています。継続的に人材育成に取り組んでいるなどの条件を満たした事業協同組合などの事業主団体を「事業取組団体」として認定し、訓練を委託します。訓練の準備などは事業主団体が行い、実施に掛かった経費をセンターが支払います。

「事業取組団体の募集」に関する説明会を2日午後2時からポリテクセンター静岡（静岡市駿河区）、6日午後2時からポリテクカレッジ浜松（浜松市南区）、8日午後2時からプラサヴェルデ（沼津市）でそれぞれ開催します。前日までの申し込みが必要です。

■申し込み・問い合わせ

ポリテクセンター静岡
生産性向上人材育成支援センター

静岡市駿河区登呂3の1の35

電話 **054(285)7153**

ポリテク静岡 検索 www3.jeed.or.jp/shizuoka/poly/



● 訓練実施の様子

今回は、センターから訓練を受託し、当組合で準備や受講者の取りまとめを進めることで、経費の補助が受けられ、経済的な負担の少ない形で実施できました。

小林 当センターでは、国が提唱している働き方改革の環境として、人材育成に取り組んでいる事業主団体に訓練を委託する取り組みを進めています。同時に、人材育成を通じて生産性向上を目指す企業の皆さまにも生産性向上支援訓練を取り入れていただく取り組みも行っています。

企業が従業員を訓練に派遣する際にネックとなるのが賃金や受講料ですが、静岡労働局から助成が受けられる点もこの事業のメリットです。申請に必要な書類は多いのですが、当センターで作成サポートもしています。

—— 今回実施した訓練について教えてください。

安部 今回は、生産性向上支援訓練のカリキュラムから、顧客の満足度を高めるためのコストや納期の改善について考えてもらうため「生産現場の問題解決」コースを選びました。

ムダを見つけ、解消するためポイントを演習などで学べる訓練を、昨年11月から12月にかけて2日間、合わせて12時間実施しました。13社から24人が参加し、受講後のアンケートでは「問題の洗い出し方法や解決の手順が分かった」「他業種の方の意見が参考になった」との声が寄せられました。

山本 当センターは、幅広い職位や課題に応じた生産管理、組織マネジメント、IoT（モノのインターネット）、マーケティングなどのカリキュラムを50種類以上用意しています。今回は、東芝機械協同組合と

訓練を運営する研修機関、当センターの3者で打ち合わせを重ね、より会員企業のニーズに合わせた内容をカスタマイズ（調整）しました。

—— 今後は訓練をどのように活用されますか。

芹澤 多彩な業種を含む組合での訓練は、他社のやり方を知る絶好の機会になり、従業員の意識を高めることができます。今後も生産性向上支援訓練を活用し、刺激を与え合う場を繰り返し設けることで、会員企業の生産性を向上させ、取引先のニーズに応え続けていきたいと考えています。



● (左から) 東芝機械協同組合の芹澤良一理事長と同組合青年部の安部秀一会長、生産性センターの小林浩子さんと山本恵美さん

—— 制度利用のきっかけを教えてください。

芹澤 東芝機械（沼津市）の取引先企業でつくる当組合では、これまでも会員企業向けの研修・訓練を積極的に行ってきたのですが、講師料や会場費などの確保が課題でした。そんな折、センターから生産性向上支援訓練を紹介していただきました。

金や受講料ですが、静岡労働局から助成が受けられる点もこの事業のメリットです。申請に必要な書類は多いのですが、当センターで作成サポートもしています。

ポリテクセンター静岡（静岡市駿河区）に昨年開設された「生産性向上人材育成支援センター（生産性センター）」は、中小企業などの人材育成を後押しする「生産性向上支援訓練」事業を行っています。受講した東芝機械協同組合と、生産性センターの担当者、訓練のメリットなどを聞きました。

〈企画・制作／静岡新聞社営業局〉